

保護者の皆様

大阪府立八尾支援学校
校長 山中 矢展

26年度 学校教育自己診断結果について【報告】

早春の頃、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。
さて、昨年10月に配付しご協力いただきました学校教育自己診断につきまして報告させていただきます。
今年度は、②の「教職員」のところで、学校マネジメント・各分野の自己診断結果も新たに載せております。
なお、記述回答につきましては複数寄せられたご意見を中心に回答させていただきました。

★報告の内容は下の4項目です。



(1) 提出率
(2) 集計結果・分析 (保護者・教職員)
(3) 記述回答
(4) まとめ

★★★今年度の学校教育計画の達成度を測る基準★★★

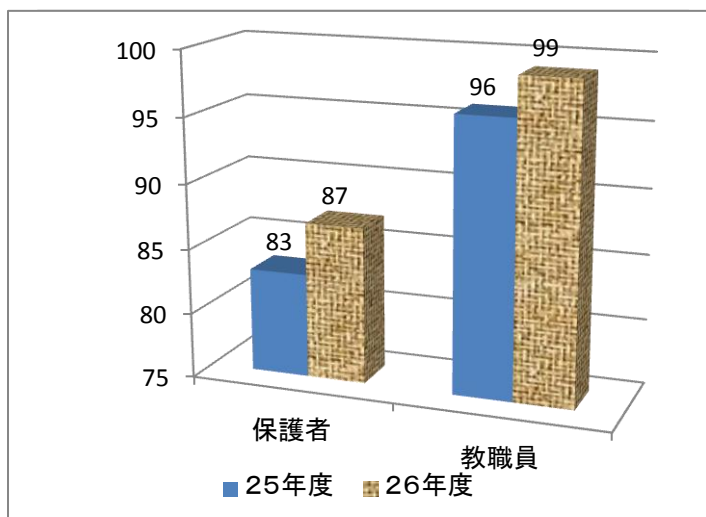
* 回答欄の「そう思う」または「だいたいそう思う」と回答があったものを■肯定的と捉え、逆に「あまり思わない」や「思わない」という回答を否定的と捉えました。
* 全体に占める割合において肯定的は70%以上を基準として達成度を測っています。また、否定的は30%以上を課題として捉えることとしました。

(1)提出率

	提出数	提出率	合計	総合・提出率
保護者	299/345	87%	452/499人	91%
教職員	153/154人	99%		

*前回との比較

【分析】



- 保護者は、前回と比較して、4%上がりました。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。次年度もより効果的な回収方法を工夫しながら保護者の皆様にご協力をお願いしたいと思います。
- 教職員についても、3%上がりました。引き続き自己診断の趣旨・ねらい等を踏まえながら主体的な参画を図りたいと思います。

(2)集計結果・分析

■肯定意見90%以上 △肯定意見5%以上のアップ
▼肯定意見5%以上のダウン

【 保護者 】

		25年度 %		26年度 %		比較	
		肯定	否定	肯定	否定		
子どもの様子	1	学校へ行くことを楽しみにしている。	89	7	■90	6	
	2	授業を楽しみにしている。	81	9	86	9	△
	3	友だちや先生と仲良くすごしている。	■92	2	■94	1	
	4	給食を楽しみにしている。	88	8	89	8	
	5	学校行事（運動会・学習発表会・校外学習・宿泊学習など）を楽しみにしている。	85	9	87	8	
教育活動	6	『個別の教育支援計画』にもとづいた支援を行っている。	■93	3	■91	3	
	7	『個別の指導計画』にもとづいた指導・支援を行っている。	■92	4	■91	3	
	8	子どもの発達段階や課題に合った授業を行っている。	85	8	87	7	
	9	教科学習や生活指導における教材や教具は工夫・配慮されている。	88	5	89	5	
	10	『学校生活の記録』を通じて、学習状況や成果を適切に評価している。	■94	1	■93	3	
	11	検診や測定、食育活動などを通じて、適切な健康教育を行っている。	■94	2	■94	2	
	12	避難訓練や交通安全教室などを通じて、適切な安全教育を行っている。	■92	2	■91	3	
	13	近隣の小・中学校との交流（居住地校交流含む）の機会を設けている。	67	18	70	15	
	14	子どもの人権やプライバシーは十分に配慮されている。	89	4	■90	4	
	15	あいさつや規則を守る指導を通じて、適切な道德教育を行っている。	85	6	87	5	
16	学校生活を通じて、将来の社会参加に向けたキャリア教育（自立に向けた教育）を行っている。	72	14	78	10	△	
保護者との連携	17	健康に必要な情報（保健だより・食育だより）を適切に提供している。	■96	1	■97	1	
	18	子どもについての保護者の悩みや相談に適切に応じてくれる。	89	5	■90	5	
	19	PTAは、活動を積極的に行っている。	■92	2	89	4	
	20	学習や生活の様子など、連絡帳や学年通信を通じて知ることができる。	■95	4	■95	4	
	21	進路に関する情報（進路だより）や保護者説明会など適切に提供している。	■92	4	■90	4	
教育環境	22	子どもにとって、教室の掲示物やスケジュールなどの学習環境が、障がい特性に応じて視覚的にわかりやすく示されている。	*	*	86	7	
	23	受付時のチェック体制など、不審者への対応を適切に行っている。	■94	1	■94	3	
	24	校内はいつもきれいで清掃が行き届いている。	71	24	76	18	△
	25	施設や設備は子どもにとって安全に整備されている。	68	23	74	18	△

- 25項目中すべての項目において肯定的意見が7割を超え、達成基準に達しました。
- 昨年度達していなかった13番『近隣の小・中学校との交流（居住地校交流含む）』については、少しずつ広報する中でポイントが上がり7割に達しましたが、「わからない」のご意見も多く、今後またさらに、広報に努める必要があると考えています。
- 25番『施設や設備は子どもにとって安全に整備されている。』も6ポイント上昇し、達成基準に達しました。耐震・大規模改修の工事や各種の整備等によるものと考えられます。また24番『清掃』も5ポイント上昇しました。引き続き数値上昇を図っていきたいと思います。
- 他にも2番・16番が5～6ポイント上昇しました。16番の『将来の社会参加に向けたキャリア教育（自立に向けた教育）』について、今後も情報提供とともに、保護者に内容や取り組みを具体的に理解していただけるように発信することが大きな課題であると考えます。

【 教職員① 】

		25年度 %		26年度 %		比較	
		肯定	否定	肯定	否定		
教育活動	1	『個別の教育支援計画』にもとづいた支援を行っている。	89	7	■95	4	△
	2	『個別の指導計画』にもとづいた指導・支援を行っている。	89	8	■93	5	
	3	発達段階や課題に合った授業を行っている。	88	11	■94	4	△
	4	学習や指導における教材は、工夫・配慮している。	■93	4	■97	2	
	5	『学校生活の記録』を通じて、学習状況や成果など適切に評価している。	■93	5	■95	3	
	6	検診や測定・食育活動などを通じて、適切な健康教育を行っている。	■96	2	■97	2	
	7	避難訓練や交通安全教室を通じて、適切な安全教育を行っている。	■92	7	■96	3	
	8	近隣の小・中学校との交流（居住地校交流を含む）の機会を設けている。	67	28	76	23	△
	9	子どもの人権やプライバシーには、十分配慮している。	■90	8	■91	8	
	10	あいさつや規則を守る指導を通じて、適切な道徳教育を行っている。	87	13	88	12	
	11	学校生活を通じて、将来の社会参加に向けたキャリア教育（自立に向けた教育）を行っている。	76	17	86	13	△
保護者との連携	12	保健だより・食育だよりなど、健康に必要な情報を適切に提供している。	■98	2	■99	0	
	13	保護者の悩みや相談に対して、適切に対応している。	■94	3	■96	3	
	14	P T Aは、活動を積極的に行っている。	80	11	■94	5	△
	15	連絡帳や電話を通じて、家庭との連携をきめ細かく行っている。	■98	2	■98	1	
	16	連絡帳や学年通信を通じて、学習予定や内容などを積極的に提供している。	■98	2	■97	1	
教育環境	17	教室の掲示物やスケジュールなどの学習環境を、子どもの障がい特性に応じて視覚的にわかりやすく示している。	*	*	■96	3	

- ①の17項目中、すべて肯定的意見が7割を超え、達成基準に達しました。
- 8番の『近隣の小・中学校との交流（居住地校交流を含む）の機会を設けている。』が9ポイント上昇し、達成基準に達しました。「保護者向け」と同様、今後も引き続き交流について広報に努めたいと思います。

【保護者向けと教職員向けを比較して】

- ★「教育活動」「保護者との連携」に関する項目では、ほとんどの項目で達成基準7割を大きく上回る評価となり、保護者と学校間の共通認識や連携は円滑に図られているものと考えられます。
- ★保護者の評価と教職員の評価の間に、7～10ポイント開きのある項目（「子どもの発達段階に合った授業」、「教材・教具の工夫・配慮」、「キャリア教育」、「学習環境が視覚的に示されている」）について、繰り返し点検をし、その差を埋めるべくさらなる検討・改善を重点的に行いたいと思います。

【 教職員② 】 *より開かれた学校となるように、今年度新たに以下の項目について報告します。

		25年度 %		26年度 %		比較	
		肯定	否定	肯定	否定		
組織マネジメント	18	校長は自らの教育理念や学校経営について、考え方を明らかにしている。	59	33	■99	1	△
	19	校長は学校運営にリーダーシップを発揮している。	44	52	■96	4	△
	20	学校運営に教職員の意見・意向は反映している。	44	50	87	12	△
	21	仕事の悩みや問題について、気軽に話し合えるような職場である。	63	31	75	24	△
	22	初任・経験の少ない教職員への、育成における取り組みは積極的である。	48	44	69	31	△
	23	分掌、学部、学年それぞれの連携は図られている。	72	26	74	26	
地域連携	24	言語聴覚士・医師・子ども家庭センターなど、外部機関と連携し子どもの支援を行っている。	72	19	86	12	△
	25	消防署や警察と連携した『子どもの安全を守る』訓練は充実している。	88	9	■96	4	△
	26	地域に開かれた研修会が行われている。	*	*	86	13	
総務	27	施設や設備は子どもにとって安全に整備されている。	39	59	60	39	△
	28	P T A活動への理解・参加・協力は積極的である。	77	13	■92	7	△
情報教育	29	個人情報の管理における校内システムは確立している。	88	5	■92	8	
	30	I C T教育の推進に必要な機器は充実している。	70	25	78	21	△
	31	日々の教育活動においてI C T機器を積極的に活用している。	72	24	78	20	△
教務	32	公文書や指導要録等の管理は十分に配慮されている。	85	8	■95	3	△
研究	33	校内研修は計画的に実施されている。	83	15	■91	8	△
	34	校内研修は専門性を高めたり日々の教育活動に活かすことができる。	79	17	87	12	△
生活指導	35	全校集会など児童・生徒会活動は活発である。	■90	8	■90	10	
	36	校外外における行方不明対策や校内巡視は整備されている。	■93	4	■94	5	
進路	37	進路指導に関する教職員向け学習会及び保護者向け見学会・説明会が計画的に実施されている。	78	15	■92	7	△
支援	38	地域支援におけるセンター校としてリーディングスタッフやコーディネーターが動ける体制が整っている。	72	20	87	11	△
	39	校内支援（ケース会議・言語聴覚士相談・校内研修など）が受けやすい体制が整っている。	73	17	87	11	△
健康教育	40	校内の清掃活動を意欲的に取り組んでいる。	81	15	82	18	
	41	保健室は健康に関する相談がしやすい。	88	10	■98	1	△
	42	給食は子どもの実態に合ったように作られている。	89	11	■96	4	△
企画	43	学習発表会等の校内行事の運営が適切に行われている。	*	*	■96	3	

- ②は学校独自項目としてこれまでも自己診断アンケートをとってきたものです。26項目中、2つを除き肯定的意見が7割を超え、達成基準に達しました。
- 「組織マネジメント」に関する項目では、昨年度に比べて肯定的意見が上昇しました。学校運営の方向性や重点がしっかりと示され、連携が進んだことが考えられます。この中で22番『初任者等の育成』については21ポイント上昇したものの、7割に達しませんでした。研修の精選や体制等さらに検討し、次年度改善に向けていきます。
- 27番『施設や設備は子どもにとって安全に整備されている』も21ポイント上昇し、数字的には改善しましたが、まだ7割に及びませんでした。引き続き改善に向け、府教育委員会へ要望を続けていきたいと思います。

(3) 記述回答【多くのご意見をいただき、ありがとうございました。要約しますと以下の通りです。】

1 施設設備に関して

○施設設備を安全に整備してほしい。(トイレ、壁の塗り替え等)

一昨年の体育館耐震工事、昨年度の作業棟の耐震・大規模改修工事に引き続き、小学部棟の耐震・大規模改修工事があり、3年間でずいぶん改善が進みました。まだ残っている部分がありますので、今後も改善に向け、検討や予算的な要望を挙げていきます。教職員による清掃等もしっかりと継続します。

2 学校行事に関して

○授業参観の回数を増やしてほしい。

毎年このご要望があり、検討を重ねた結果、次年度は1学期に各学部3日間の「参観期間」を設定します。授業以外の学校生活の部分も見えていただけるように考えております。また、参観期間以外でも適宜個別に参観を受け付けておりますので、お申し出ください。(2、3学期の参観はこれまで同様の形で、学期に1回行います。)

○運動会について検討してほしい。(開催時期、学部別など)

高等部との調整や宿泊学習の関係があり、検討の結果2学期開催となっております。来年度は高等部が戻りますので、3学部そろった形での従来の運動会を行う予定です。ご理解とご協力をお願いします。なお、今後も継続して検討していきたいと思っております。

○学校行事が多いのでは？

おもに2学期に大きな行事が続きますが、児童生徒にとって大きな負担とならないように配慮しながら学習の成果として取り組むなど、計画・準備から留意し行っております。

3 教育活動に関して

○子どもの特性を踏まえ、教室や教材教具などの環境を整え、また提示方法など視覚的な支援や配慮を高めてほしい。

今一度、教員各自が点検・再確認を行いつつ、一人ひとりの特性や課題をしっかりと踏まえ、授業方法・内容等吟味に努めたいと思っております。引き続き視覚的な支援や配慮に対して重点的に取り組んでまいります。

○授業内容が子どもの実態にはやさしすぎるので、もう少し細かく合うようにしてほしい。

個々の児童生徒の実態把握に努め、それに沿った授業内容を設定しております。細かな達成目標により、取り組みやすいところから少しずつ自信を深められるように学習内容の積み上げを図っております。また、社会参加に向けて生活の中で活かせるような内容や学習課題も多くあります。「個別の支援計画」に基づいて、保護者とときめ細かく連携しながら、今後もの確な設定となるよう努めたいと思っております。

○教員の対応力等スキルアップを望む。ことば遣いに留意してほしい。

今後とも人権意識の向上に努め、校内研修等日々研鑽し、努力してまいりたいと思っております。

○過密・過大のため、ゆとりある教育ができていないので、改善してほしい。

過密・過大の問題につきましては、学校としましても大きな問題と捉えております。府教育委員会に要望として訴えてまいります。できる限り子どもたちに充実した教育環境・教育内容を提供できるよう努めます。

4 その他

○連絡帳等子どもの様子をもっと伝えてほしい。

連絡帳にはできる限り学校の様子をお伝えするようにはしておりますが、さらに努力いたします。また、学校・学年だより等を通じて、引き続きより広くわかりやすい情報発信に努めてまいります。

○地域との交流の機会を増やしてほしい。

近隣の小・中学校と学校間交流を年間数回行っております。また、居住地校交流におきましては、相手校とともに可能な期日・内容を調整しながら実施しております。引き続き、ご理解とご協力をお願いします。

(4)まとめ【学校協議会の提言等】

- I 保護者向けと教職員向け①の項目の達成度を総合的に見た場合、すべての項目が達成基準に達しており、今年度の学校教育計画に基づく各種取り組み（支援）は、概ね達成していると捉えたいと思います。今後も、授業力の研鑽を基に、子どもたち一人ひとりの自立や社会参加に向け、保護者・地域・外部機関等と連携しながら充実した教育活動が展開できるよう、全教職員で取り組みたいと思います。
- II 一方で70%台の評価であった「交流教育」「キャリア教育」「校内清掃」「施設・設備」を今後に向けた課題と捉えて、改善に向け努力を重ねていきたいと思います。また、「子どもの発達段階に合った授業」「教材・教具の工夫・配慮」「学習環境が視覚的に示されている」について、これまでも重点的に取り組んできておりますが、さらに子どもにとってよりよい教育内容や教育環境となるよう、保護者や外部の関係機関と連携しながらきめ細かく取り組んでいきたいと思います。

【学校協議会からの提言】

- ★提出率が高く、ほとんどの項目で基準に達している。今年度評価が高いことは努力の結果と言えるのではないかと。課題だけでなく上昇についても分析・検証していく。
- ★保護者からのご意見は、すべて全職員で共有し、改善に向けて取り組んでもらいたい。
- ★保護者の悩み相談について、関係諸機関との連携も含めた学校での相談システムを周知・浸透させる必要がある。 ★初任者等の人材育成のため、キャリア教育の支援を見据えた研修や授業見学の体制づくり等の提案 などが出されました。

- III 昨年度に保護者の方から寄せられたご意見の中で、今年度検討し改善や対応ができた（対応する予定の）ものを一部挙げさせていただきます。
- 1) 施設設備の改善について・・・小学部棟の耐震・大規模工事により、トイレの改修、壁の塗り替え、扉や窓の取替えなどが実現し、明るくきれいになりました。
 - 2) わかりやすい教室等の案内表示について・・・新たに掲示板、教室表示（イラスト付き）、方向表示等購入し設置しました。またご来校の折にご覧下さい。
新年度に教室の校内図（プリント）の配付もさせていただきます。
 - 3) 授業参観の回数・設定時間や内容の拡大について・・・次年度一学期に、各部3日間の「参観期間」として実施します。
 - 4) 学校行事における車での来校について・・・今年度は三人行事について、東校を駐車場としてチャーターバスを運行し対応しました。次年度、東校が閉校するためその対応ができません。つきましては、駐車許可証の発行を基本とした体制を考えておりますが、可能な限り公共交通機関のご利用など、ご理解ご協力をお願いします。
- *ご意見につきましては、すぐ実現できるものや検討に時間を要するもの等ございます。
今後もすべてのご意見について、各部や関係部署で真摯に検討を続けてまいります。

ご協力ありがとうございました。（*この報告は、3月末までに学校ホームページに掲載いたします。）